

公共照明器具の概要

公共施設照明器具 2010年版 JIL5004-2009改正のポイント

●省電力形器具への移行

- LED照明器具機種拡充
- グロー式蛍光灯具の廃止 → LED器具へ移行
- 一般白熱灯具の廃止 → LED器具へ移行
- 水銀ランプの廃止 → セラミックメタルハライド&メタルハライドランプへ移行

●安全・安心性の向上

- 誘導灯の保守・メンテナンス性の強化

●その他変更事項

- 蛍光灯ベースライト 器具最大寸法規定化
- 初期照度補正形安定器の推奨
- 新機種の追加 など

JIL5004-2009の概要

■構造および構成部品

表1 外形寸法の許容差 単位:[mm]

外形寸法	200以下	200を超え 450以下	450を超え 700以下	700を超え 1,400以下	1,400を 超えるもの
単独に使用する器具(注1)	±1.5	±2.0	±2.5	±3.0	±5.0
連結して使用する器具(注2)	±1.0	±1.5	±2.0	±2.5	±3.0
絞り部分、ダイカスト部分 及び反射がさの幅	±2.0	±3.0	±5.0	±10.0	—
鋳物部分	±5.0	±5.0	±5.0	—	—

注1) 絞り部分、ダイカスト部分、反射がさの幅及び鋳物部分を除く。

注2) 連結して使用する器具の連結部分には、美観を損なうような寸法差があってはならない。

●塗装仕様

器具に関する金属材料は、原則として塗装、めっきなどの仕上げを行う。ただし、通常の使用状態では見えない部分に、亜鉛めっき銅板及びステンレス鋼板、また、見える部分に塗装亜鉛めっき銅板(亜鉛めっきの上に塗装したもの)及び塗装ステンレス鋼板(ステンレス鋼板の上に塗装したもの)を使用する場合は塗装を省略できる。

(a) 塗装する場合は、原則として、表2又は同等以上の方法により、器具の外表面及び反射面をむらなく均一に行うこと。

(b) 高反射塗装と表記のあるものは、反射率90%以上の白色塗装を行うこと。

(c) めっきする場合は、原則としてJIS H 8610「電気亜鉛めっき」に規定する2級以上とする。

(d) アルミニウムの表面加工の場合は、陽極酸化皮膜仕上げ又は、これと同等以上の表面皮膜仕上げを行う。

表2 塗装仕様

用途	材料	前処理(注1)	上塗り		
器具本体	一般形	銅板	りん酸塩処理	アミノアルキッド樹脂焼付塗装	
		亜鉛めっき銅板	りん酸塩処理又はエッチングプライマ		
	防水形	銅板	りん酸塩処理及びさび止めペイント		アクリル樹脂又はエポキシ変性メラミン樹脂又はポリウレタン樹脂焼付塗装
		亜鉛めっき銅板	りん酸塩処理又はエッチングプライマ		
	耐塩形	ステンレス	—		
		亜鉛めっき銅板	さび止めペイント又はエッチングプライマ		
ポールアーム(注2)	銅材	さび止めペイント	—		
	銅材 溶融亜鉛めっき	エッチングプライマ及びさび止めペイント(注3)			

注1) 前処理においては各仕様とも脱脂を行う。

注2) ポールおよびアームはさび止めペイントまでとする。なお、内面は塗装、めっきなどの仕上げは不要とする。

注3) 上塗りしない場合は不要とする。

■光特性

●蛍光灯照明器具の照明率およびグレア分類

蛍光灯器具の照明率は表3-1による。また、蛍光灯器具のグレア分類は、表3-2による。なお、グレア分類による輝度制限値は、表3-3による。

表3-1 蛍光灯器具の照明率

機種	照明率 室指数		
	R=1.5	R=2.0	R=2.5
FRS15-322	0.64	0.70	0.76
FRS15L3V-322	0.56	0.61	0.63
FRS15L3G0-322	0.52	0.56	0.58
FRS15L5-322	0.58	0.65	0.68
FRS15F1-322	0.40	0.44	0.50
FRS18-322	0.66	0.74	0.79
FRS18L3V-322	0.59	0.64	0.66
FRS18L3G0-322	0.50	0.54	0.56
FRS18L5-322	0.62	0.68	0.73
FRS18F1-322	0.46	0.52	0.55
FRF9-P323	0.44	0.48	0.53
FRF9-P454	0.44	0.48	0.52
FRL10-322	0.62	0.68	0.73
FRL11-P323	0.52	0.56	0.59
FRL11-P454	0.51	0.56	0.59
FRL12-P323	0.69	0.76	0.80
FRL12-P454	0.59	0.66	0.70
FSL1-322	0.55	0.61	0.64
FSL2V-322	0.56	0.59	0.62
FSL2G0-322	0.48	0.53	0.56
FRS21-H321	0.54	0.58	0.61
FRS21-H422	0.47	0.51	0.52
FRS21-H423	0.52	0.57	0.61
FRS21-H424	0.54	0.61	0.66
FRS23-H321	0.46	0.49	0.51
FRS23-H422	0.44	0.49	0.52
FRF8RP-H321	0.28	0.31	0.33

備考1) 反射率は天井70%、壁50%、床30%とする。

2) 器具の出力は最大光束出力時の値とする。

表3-2 蛍光灯器具のグレア分類対応表

機種	グレア分類
FRS15L3V-322	V
FRS17L3V-322	
FRS18L3V-322	
FSL2V-322	
FRS25L3V-322	G0
FRS15L3G0-322	
FRS17L3G0-322	
FRS18L3G0-322	
FSL2G0-322	G1b
FRS25L3G0-322	
FRS15L5-322	
FRS15F1-322	
FRS17L5-322	
FRS18L5-322	
FRS18F1-322	
FRS25L5-322	
FRS27-322	
FRS28L5-P452	
FRL9-321	G2
FRL10-322	
FSL1-322	
FRS15-322	
FRS17-322	
FRS18-322	
FRS25-322	
FRS26-322	

備考1) 1灯用、2灯用など複数の機種あるものは、代表する機種を掲載している。

2) G1bに分類される機種の中には、G1aの性能を有する機種が含まれる場合がある。

表3-3 蛍光灯器具のグレア分類と輝度制限値 単位:[cd/m²]

グレア分類	各鉛直角における輝度		
	65°	75°	85°
V	200以下	200以下	200以下
G0	3,000以下	2,000以下	2,000以下
G1a	7,200以下	4,600以下	4,600以下
G1b	15,000以下	7,300以下	7,300以下
G2	35,000以下	17,000以下	17,000以下
G3	制限なし		

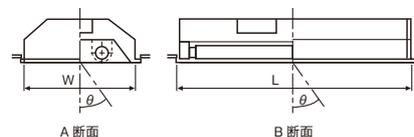
備考1) A断面、B断面を異なったグレア分類で扱ってもよい。

2) 照明器具の輝度は規定された鉛直角における光度(I_{θ})を見かけの発光面積で除した値とする。

3) 輝度値を算出する「見かけの発光面積(A_{θ} , B_{θ})」は、次によって算出する。

下面開放器具(ルーバーを含む。)及び平板(プリズムを含む。)の透光性カバー付器具は、次の式による。

A, B断面とも $A_{\theta} = LW \cos \theta$, $B_{\theta} = LW \cos \theta$



●非常用照明器具

非常用照明器具はJIL5501「非常用照明器具技術基準」の規定により表4の設置間隔表に適合することを標準とする。

表4 設置間隔表 単位:[m]

器具形式	配置方法	取付高さ						
		2.1	2.4	2.6	3.0	4.0		
K1-FRS15-321	単体配置	A1	3.6	3.9	4.1	4.5	5.2	
		B1	4.3	4.6	4.7	5.0	5.2	
	直線配置	A2	8.2	8.9	9.4	10.2	12.2	
		B2	10.4	11.0	11.4	12.2	13.7	
	四角配置	A4	6.5	7.1	7.5	8.2	9.9	
		B4	9.1	9.7	10.1	10.8	12.3	
	壁からの距離	A0	2.3	2.3	2.5	2.6	2.6	
		B0	3.1	3.2	3.4	3.5	3.7	
	K1-FRS15-322	単体配置	A1	3.1	3.6	3.7	4.0	4.6
			A'1	3.1	3.4	3.6	3.9	4.6
直線配置		A2	7.1	7.8	8.2	9.0	10.8	
		B2	10.4	11.1	11.6	12.4	13.9	
四角配置		A4	5.8	6.3	6.6	7.2	8.8	
		B4	9.0	9.6	10.0	10.7	12.2	
壁からの距離		A0	2.5	2.8	2.8	3.0	3.3	
		B0	3.0	3.2	3.4	3.7	4.0	
K1-FRS15L3V-322		単体配置	A1	2.4	2.6	2.7	3.0	3.5
			A'1	2.3	2.5	2.7	2.9	3.5
	直線配置	B1	2.8	3.0	3.3	3.6	4.3	
		A2	5.2	5.8	6.1	6.7	8.1	
	四角配置	B2	6.1	6.7	7.1	7.9	9.6	
		A4	4.4	4.9	5.1	5.7	5.8	
	壁からの距離	B4	5.1	5.7	6.1	6.8	8.4	
		A0	1.9	2.0	2.0	2.2	2.4	
	B0	2.1	2.2	2.4	2.6	3.0		
	K1-FRS15L3G0-322	単体配置	A1	3.2	3.5	3.5	3.7	4.2
A'1			2.5	2.8	2.9	3.2	3.8	
直線配置		B1	3.1	3.3	3.5	3.7	4.2	
		A2	6.0	6.8	7.2	8.1	10.0	
四角配置		B2	6.7	7.4	7.9	8.7	10.2	
		A4	5.2	5.7	6.1	6.8	8.2	
壁からの距離		B4	5.8	6.4	6.8	7.4	8.9	
		A0	1.9	2.2	2.3	2.5	2.8	
B0		2.2	2.3	2.3	2.6	2.9		

■性能および試験

- 性能および試験は、機種ごとに該当する電気用品の技術上の基準、JIS規格およびJIL規格の規定によること。
- 照明器具の受渡試験は、原則として表5等に基づいて行うものとする。ただし、JISマーク表示品は、試験成績者の提出を省略することができる。

表5 標準試験項目

器具の種類	試験方法	試験項目					
		構造	点灯	絶縁抵抗	耐電圧	防水	動作(注1)
蛍光灯器具	JIS C8106による	○	○	○	○	○(注2)	
HID灯器具	JIS C8105-3による	○	○(注3)	○	○	○(注2)	
白熱灯器具		○		○	○	○(注2)	
LED照明器具	JIL 5006による	○		○	○	○(注2)	
非常用照明器具	JIL 5501による	○		○	○		○
誘導灯器具	JIL 5502による	○		○	○		○
照明制御装置	各社標準による	○		○	○		○

注1) 動作は非常用照明器具、誘導灯器具の場合は切替動作の確認を、照明制御装置の場合は、センサー動作確認を出力信号の測定にて実施する。
 注2) 防水形器具に限り、試験方法はJIS C8105-1 9.2 じんあい、固形物及び水気の侵入に対する試験による。
 注3) 安定器を内蔵するものに限る。

■表示

- 表示項目は、法令による規定、関連するJIS規格および団体規格の規定による。銘板の表示方法はガイド102「照明器具の銘板等の表示」を基本とする。
- 表示箇所はJIL7002「照明器具の表示箇所標準」による。

【材料】

表6 材料

記号	名称
SPC	銅板 (SPH、SGC、SEC、CGCなどを含む。)
A1P	アルミニウム板
A2S	アルミニウム押出材
ADC	アルミニウム合金ダイカスト
ZDC	亜鉛合金ダイカスト
FC	鉄鋳物
AC	アルミニウム合金鋳物
ST	銅管
STK	一般構造用炭素鋼管
AT	アルミニウムおよびアルミニウム合金管
P	合成樹脂 (PMMA、PS、UFなどの総称。)
PMMA	メタクリル樹脂
GC	型板ガラス
GR	強化ガラス
GFR	つや消し乳白ガラス
GD	すりガラス
GH	硬質ガラス
GF	乳色ガラス (つや消し乳白ガラスを含む。)
GA	透明ガラス
GB	色ガラス
SUS	ステンレス鋼板
SS	一般構造用圧延鋼材
SM	溶接構造用圧延鋼材
SMA	溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材
STKR	一般構造用角形鋼管
SGP	配管用炭素鋼管

備考 SPC:冷間圧延銅板および銅帯 SGC:溶融亜鉛めっき銅板および銅帯
 SPH:熱間圧延軟鋼および銅帯 CGC:塗装溶融亜鉛めっき銅板および銅帯
 SEC:電気亜鉛めっき銅板および銅帯 (塗装電気亜鉛めっき銅板および銅帯を含む)

公共照明器具の概要

[ランプ]

表7 ランプの種類と器具の種類

ランプの種類		器具の種類		器具の種類	
種類	記号	器具の形状	記号	器具の形状	記号
蛍光ランプ	F	埋込天井灯(カバーなし)	RS	屋外灯(柱頭形、防雨形)	ST
		埋込天井灯(カバー、枠付き)	RF	屋外灯(アーム付き、防雨形)	SA
		埋込天井灯(ルーバー付き)	RL	投光器	PJ
HIDランプ	H	直付天井灯(ルーバー付き)	SL	ブラケット(カバーなし)	BS
		直付天井灯(カバーなし)	SS	ブラケット(カバー枠付き)	BF
		直付天井灯(反射がさ付き)	SR	ブラケット(カバー付き)	BC
LEDモジュール	L	直付天井灯(カバー、枠付き)	SF	標識又は表示灯	PL
		直付天井灯(カバー、枠付き)	SF	ガーデンライト	PT
白熱球	I	昇降装置	ML		
		照明制御装置	DS		
その他					

表8 ランプの種類と大きさ

蛍光ランプ	直管形			コンパクト形		
	大きさの区分	定格ランプ電力	記号	大きさの区分	定格ランプ電力	記号
HIDランプ	FHF16形	16/23ワット	16	FHP32形	32ワット	P32
	FHF32形	32/45ワット	32	FHP45形	45ワット	P45
	FHF86形	86ワット	86	FHT24形	24ワット	H24
				FHT32形	32ワット	H32
			FHT42形	42ワット	H42	

HIDランプ	セラミックメタルハイドランプ		メタルハイドランプ		コンパクト形メタルハイドランプ		高圧ナトリウムランプ	
	定格ランプ電力	記号	定格ランプ電力	記号	定格ランプ電力	記号	定格ランプ電力	記号
HIDランプ	150ワット	150CML	100ワット	100M	70ワット	70CM	70ワット	70NH
	180~190ワット	190CML	250ワット	250M	100ワット	100CM	75ワット	75NH
	220~230ワット	230CML	300ワット	300M	150ワット	150CM	110ワット	110NH
	270~290ワット	290CML	400ワット	400M			180ワット	180NH
	360~370ワット	370CML	700ワット	700M			220ワット	220NH
			1000ワット	1KM			270ワット	270NH
						360ワット	360NH	
						660ワット	660NH	
						940ワット	940NH	

備考 セラミックメタルハイドランプと安定器の組合せは付属書を参照のこと。

非常照明用電球	ミニ電球 ⁽¹⁾		ミニハロゲン電球 ⁽²⁾	
	定格ランプ電力	記号	大きさの区分	定格ランプ電力
非常照明用電球	40ワット	40	JE9形	9ワット
			JE13形	13ワット
			JE30形	30ワット

注1)JIL 5501 付属書3によるミニ電球とする。

注2)JIL 5501 付属書3によるミニハロゲン電球とする。

●埋込器具に使用するルーバーおよび照明カバー

表9 ルーバーおよび照明カバー

ルーバー等の記号	ルーバー		照明カバー
	形状記号	性能記号	
器具の形状	L3	L5	F1
	V G0	—	—
			
	長方形の開口部を連続的に配置した形状	複数の遮光板を平行に組み合わせた形状	平板形状

備考1)形状記号L3は、照明器具のグレア分類をしやすくするために性能記号V及びG0を付加する。

●非常用照明器具および誘導灯

表10(1) 器具の種類と電源

器具の種類	電源別置形	電池内蔵形
非常用照明器具	K0	K1
通路誘導灯	—	ST1
避難口誘導灯	—	SH1
階段通路誘導灯と非常用照明器具を兼用する器具	SK0	SK1

備考1)蛍光灯器具に白熱電球を組み込んで非常用照明器具とする場合は、器具記号の前に本表の記号および白熱灯の記号を記入する。
表示例: KO-40+FRS26-322PN9

2)K0、K1は建築基準法関係法令による非常用照明器具である。

K0は電源別置形で、非常時はミニ電球1灯点灯とする。

K1は電池内蔵形で、非常時は蛍光灯器具の場合は蛍光ランプ1灯点灯とし、白熱灯器具の場合は、白熱灯1灯点灯とする。

3)ST1、SH1、SK0、SK1は消防法関係法令による誘導灯とする。

表10(2) 誘導灯の形式及び機能による区分

形式及び機能	記号
一般形	なし
パネル形	P
点滅形	F
点滅式誘導音付加形	AF

表10(3) 誘導灯の仕様による区分

仕様	記号
C級	C
B級BL形	BL
B級BH形	BH
A級	A
60分間定格	60
集中制御方式自動点検	S

備考 1.60分間定格のものは、末尾に60を追記する。ただし、非常灯と兼用形の場合は、ランプW数・灯数の前に、60を追記する。

2.集中制御方式自動点検のものは、末尾にSを追記する。

表示例 SH1-FRF20P-C60S

●人感センサーによる照明制御装置を内蔵する照明器具

装置及び器具の種類	記号
人感センサーを内蔵し、自動点滅を行えるものとする。なお、感知範囲は内蔵されたセンサーから直線距離2.5m以上感知できるものとし、感知後即時点灯し、感知されなくなってから消灯するまでの時間は内蔵のタイマーにより1~10分の範囲内に設定されていること。	FDS1
人感センサーを内蔵し、自動的に調光が行えるものとする。なお、感知範囲は内蔵されたセンサーから直線距離2.5m以上とし、感知後100%点灯し、感知されなくなってから減光するまでの時間は内蔵のタイマーにより1~10分の範囲内に設定されていること。減光の設定は最大光束に対して内蔵された安定器の調光下限値まで調光が可能なこと。	FDS2

備考 照明器具に人感センサーを内蔵し、熱線の変化を検知して照明を点滅することができる機種は、器具記号の前に本表の記号を記入する。

表示例 FDS1-FSS9-322PN9

●蛍光灯安定器の種類(表11)

安定器の種類		記号	摘要	東芝記号
初期照度補正形	高出力	PK	二重定格ランプにおいて高出力電力で点灯したときの光束の約70%で点灯開始し、ランプ寿命時まで連続的に出力をあげ、ほぼ一定の光束を保つようにしたもの	PK
	定格出力	PJ	定格電力で点灯したときの光束の約70%で点灯開始し、ランプ寿命時まで連続的に出力をあげ、ほぼ一定の光束を保つようにしたもの	PJ
連続調光形		PW	調光信号により連続的に出力を制御し、最大光束を100%とした場合に調光下限値を60%以下としたもの	PD
		PX	調光信号により連続的に出力を制御し、最大光束を100%とした場合に調光下限値を35%以下としたもの	PD
		PZ	調光信号により連続的に出力を制御し、最大光束を100%とした場合に調光下限値を5%以下としたもの	DAH DAM DBH DBM
一般形	高出力	PH	二重定格ランプにおいて高出力電力で点灯するもの	PA PH
	定格出力	PN	定格電力で点灯するもの	PM PN
	省電力出力	PR	定格より少ない消費電力で点灯するようにしたもの	PR

備考 1.高出力及び省電力出力の対象となるものは、表3-2ランプ光束及び安定器の入力容量に示される。
2.階段道路誘導灯には、点灯方式(PZ)は摘要しない。
3.連続調光電子安定器の調光下限値は、安定器の能力を示す。
4.連続調光電子安定器を器具に組み込んだときの調光下限値が摘要を満足できない場合は、附属書機種別仕様にてその値を示す。この規格では、FRS23、FRS23A、FRF8RP、FRF8RPAが対象であり、調光下限値を45%としている。
5.ランプの種類と対応する安定器の種類は次による。

ランプの種類	対応する安定器の種類	
直管形	FHF16形	PX PH
	FHF32形	PK PJ PX PZ PH PN
	FHF86形	PJ PX PN
コンパクト形	FHP32形	PW PX PN PR
	FHP45形	PX PN
	FHT24形	PX PN
	FHT32形	PX PN

●HID灯安定器の種類(表12)

安定器の種類		記号
電子安定器	一般形高力率形	BP
磁気回路式安定器	一般形高力率形	BH
	低始動電流形	BC

■器具形名の表示例

●蛍光灯器具

表示例1-1 蛍光灯器具

記号例1	F	RS	15	L3V	-32	2	PH	9	
内容項目	ランプの種類	器具の形状	器具の形(注1)	ルーバーカバー	ランプの大きさ	ランプの本数(注2)	点灯方式	定格入力電圧	周波数
附表1の表No.	2(1)	2(1)	—	3.	2(2)	—	6(1)	6(4)(a)	6(4)(b)

注1)器具の形は機種別仕様の番号(1～n)によるほか、次による。
(a)防雨形の場合はR P、防湿形の場合はM Pを追記する。
(b)同一機種で基本形と一部仕様の異なる場合は、アルファベット記号をA、B、C…の順で追記する。
2)ランプの本数を番号(1～n)で表す。
備考 非常用蛍光灯器具及び誘導灯は、本記号例の前に附表1の4(1)の記号を付ける。

●白熱灯器具

表示例1-2 非常用白熱灯器具

記号例1	K	1	—	I	RS	4	—	JE13
内容項目	用途区分	電源種別	ランプの種類	器具の形状	器具の形	器具の形	ランプの大きさ区分	
附表1の表No.	4(1)	4(1)	2(1)	2(1)	—	—	2(2)	

●誘導灯器具・非常用照明器具

表示例1-3 避難口誘導灯・通路誘導灯

記号例1	SH	1	—	F	RF	20	P	—	CS
内容項目	用途区分	電源種別	ランプの種類	器具の形状	器具の形	機能による区分	仕様による区分		
附表1の表No.	4(1)	4(1)	—	2(1)	—	4(2)	4(3)		

備考 避難口誘導灯と通路誘導灯のランプ種類は、当面はF(蛍光灯)の種類にLEDモジュールを含むものとする。

●LED制御装置の種類(表13)

制御装置の種類		記号
—	一般	PN
連続調光形	調光信号により連続的に出力を制御し、最大光束を100%とした場合に調光下限値を5%以下としたもの	PZ

●定格入力電圧および周波数

表14 定格入力電圧

定格入力電圧	記号
100V	1
200V	2
120V	3
230V	4
100V/200V	9

備考 1.記号3は定格入力電圧が110V、115V、120Vに対応するものとする。
2.記号4は定格入力電圧が230V、240V、242V、254V、265V等3相4線式400V級配電を行った場合の電圧に対応するものとする。
3.記号9はユニバーサル電圧(100～242Vなど)に対応するものとする。

表15 周波数

周波数	記号
50Hz	5
60Hz	6
50Hz/60Hz	5/6

備考 1.記号5/6は50Hz、60Hz共用のものとする。
2.電子安定器の場合、周波数の記号は省略する。

●ポールの種類およびポールの地上高

表16 ポールの種類およびポールの地上高

種類	記号	ポールの地上高	記号
ポール	T	3.5m	3.5
ポール(ベースプレート式)	TB	4.0m	4
		4.5m	4.5
		5.0m	5
		5.5m	5.5

●HID灯器具

表示例1-4 HID灯器具

記号例	H	ST	9-250M	BC	2	6	-	T	4
内容項目	ランプの種類	器具の形状	器具の形(注1)	ランプの大きさ	安定器の種類	定格入力電圧	周波数	ポールの種類	ポールの地上高
附表1の表No.	2(1)	2(1)	—	2(2)	6(2)	6(4)(a)	6(4)(b)	7	7

注1)器具の形は、機種別仕様の番号(1～n)によるほか、次による。
(a)反射がさの場合は次の配光形式を追記する。
M:JIL4004「照明用反射がさ」の分類の2形および3形
W:JIL4004「照明用反射がさ」の分類の4形および5形
(b)投光器の場合は次の配光形式を追記する。
N:JIS C 8113「投光器」18.1の表2の分類30°未満
M:JIS C 8113「投光器」18.1の表2の分類30°以上
W:JIS C 8113「投光器」18.1の表2の分類60°以上
(c)同一機種で基本形と一部仕様の異なる場合は、アルファベット記号をA、B、C…の順で追記する。

●HID灯安定器

表示例1-5 HID灯安定器

記号例	BL	400	—	2	6
内容項目	安定器の種類	ランプの大きさ	定格電圧	周波数	
附表1の表No.	6(2)	2(2)	6(4)(a)	6(4)(b)	

●LED照明器具

表示例1-6 LED照明器具

記号例	L	RS	1-1800LM	PZ	2	
内容項目	ランプの種類	器具の形状	器具の形(注1)	器具光束(注2)	点灯方式	
附表1の表No.	2(1)	2(1)	—	—	6(3)	
					定格入力電圧	周波数
					6(4)(a)	6(4)(b)

注1)器具の形は機種別仕様の番号(1～n)によるほか、次による。
(a)防雨形の場合はR Pを追記する。
2)光束区分がある場合は、その代表値を示す。

確認図と確認外について

社団法人日本照明器具工業会の「公共施設用照明器具に関する規則」によると確認図とは一括確認によって確認され、確認図が押された製作図。

確認外とは機種別仕様で「確認外」と示されている形式のものについては、一括確認の対象としない。(誘導灯器具のように消防法令によるもの及び意匠性の強い照明器具等をいう。)

とあります。つまり、確認印の押印された製作図が「確認図」で、確認印がなく都度現地で確認するものが「確認外」となります。